

(様式第4号)

上田市社会教育委員会議 会議概要

1 審議会名	第9期第5回社会教育委員会議
2 日時	令和6年3月1日 午後1時30分から午後4時00分まで
3 会場	市役所 2階 202・203会議室
4 出席者	宮下俊哉委員（代表）、山崎順子委員（代表代理）、小山ひとみ委員、 滝澤共子委員、西澤むめ子委員、上野勝裕委員、小平千文委員、酒井真由子委員、 滝澤正幸委員
5 市側出席者	上原生涯学習・文化財課長、久保田人権同和教育政策幹、和根崎城跡整備担当政策幹 星野スポーツ推進課長、星野中央公民館長、木嶋西部公民館長、滝澤城南公民館長、 馬場上野が丘公民館長、遠藤塩田公民館長、大森川西公民館長、小林丸子公民館長、 松木真田中央公民館長、若林武石公民館長、佐藤図書館長、 金田上田情報ライブラリー館長、坂部博物館長、横田生涯学習係長、 宮崎生涯学習係主任
6 公開・非公開	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 一部公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開
7 傍聴者	0人 記者 1人
8 会議概要作成年月日	令和6年3月29日

協議事項等

1 開 会

2 あいさつ（宮下代表、上原生涯学習・文化財課長）

3 会議事項

（1）令和5年度実績報告について（資料1）

・資料1に沿い、各代表所属長から「令和5年度実績報告」について説明

（委員） 仏像調査について、地域的には丸子・真田・武石含めて調査しているのか。

（事務局） 一旦市内全域で1,300から1,400体ほど調査をし、専門家の先生が入り、そのなかから134体を拾い上げ、指定文化財に相応しいものであるか等の価値づけを行っている。

（委員） 134体に含まれないものであっても各地域の歴史的なもの等もあるので、何か大事にするような施策も考えていただきたい。

（委員） 史跡上田城跡整備事業で、上田城シンポジウム、三十間堀・鬼門除けの角櫓等の説明に参加した。機運を高める意味でも次年度も続けていただきたい。

（委員） 地域における若者の居場所づくりの調査研究として、見学、懇談を行ったと報告があったが、意見交換の内容はどんなものか。

（事務局） おけまる食堂で活動している高校生から、自分達が主体的に支援活動を行える場であり、やりがい、充実感が感じられるとの話があった。

まちなかキャンパスでは大学生等が多く、地域の商店街での活動では、地域の活性化の一翼を担うことができ、地域の皆さんにも評価され、とてもやりがいがあり、良い活動ができたとの話があった。

（委員） デジとしょ信州は、少しずつ利用登録者が増えているが、年齢層はどうか。

（事務局） 当初40代中心だったが、段々若年化し30代が多くなってきている。県内でも、50代から40代というかたちで、段々若い方に利用いただいている。

（委員） 公民館事業の分館に対する応援体制の充実強化というところで、分館活動に関する助言や見直しに関する情報提供の件数がかなりあるが、主な内容はどのようなものか。

（事務局） 昨年5月、新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられたことに伴い、以前実施していた事業を再開する動きがみられ、事業の進め方や必要になる道具や備品についての貸

出し等についての相談が多くあった。また、分館役員体制の見直しについての相談も多くあった。

(委員) 分館活動の手引きについて、毎年分館に同じ様な内容のものが配布されるが、分館の規模や地域の特性などにより分館活動も異なっていると思う。公民館ごとで工夫ができるようなものなのか。

(事務局) 分館活動の手引きは、新たに分館役員になるかたを対象として作成している。具体的な分館活動について、内容を更新して作成している。手引きでは対応できない部分もあり、様々な事業で他の分館・地域と交流するなかでの情報交換や研修会等での支援も行っている。

(委員) 市民の森公園再整備に向けた検討とは、親子で遊べるような場づくりという理解で良いか。

(事務局) 森の中にあるという特長も生かしながら、基本的には親子で訪れ、子どもが楽しめるような施設整備を主眼に置いて進めていきたい。来年度は、新たなイベントも企画しながら、サウンディング型の市場調査という手法で民間の方の御意見も取り入れる等検討していきたい。

(委員) こども基本法ができ、当事者である子どもの意見を取り入れることも御検討いただきたい。

(事務局) 市民の森公園に大型の遊具を数年前に設置したが、その際は小学生とか保育園児にこんな遊具が欲しいというような意見を聞いて設置した経過もあり、ぜひ今回もお子さんや実際に使われる方の意見を取り入れながら計画作りしていきたい。

(委員) 図書館サービスの充実について、デジとしょ信州の新規登録者 346 人、貸し出し数 4,394 件とあるが、前年と比較しての増減はどうか。

(事務局) 貸し出し件数は、前年 4,534 件、今年度 1 月までで 5,107 件で今年度増加している。登録者数は前年度 883 人、今年度 366 人で伸び悩んでいる。

(2) スポーツ都市宣言について

- ・資料 2 に沿い、スポーツ推進課長から「スポーツ都市宣言について」説明

(質問・意見なし)

(3) 自治会連合会提案の「市等が自治会に依頼する各種役員の見直し」について

- ・資料 3 に添い、星野中央公民館長、上原生涯学習・文化財課長から説明

(委員) 青少年推進指導員、人権同和教育推進員の廃止に伴う行政のフォローアップが非常にきめ細やかに準備されていると感じた。

少し前の新聞報道で、人権教育のサポート隊立上げの記事が掲載されていたが、このサポート隊の方々は今後の学習事業等にも関わっていくのか。

(事務局) 人権教育サポート隊は、かつて学校現場で専門的に人権教育に携わっておられた先生方で構成されており、今後行われる地域の人権教育の学習事業のメニューのひとつとして紹介、希望する自治会・分館へ生涯学習・文化財課から派遣する。講師謝礼については、生涯学習・文化財課の講師謝礼の予算から支払いを行う予定。

(委員) 少年補導委員の名称変更について、時代にそぐわないと感じており賛成。「見守り」という言葉が入ると学校では登下校のイメージがある。こども安全安心見守り委員は、全体のサポート・支援といった意味あいがあると思うが、混乱が生じないように、違いが明確になると良い。

(事務局) これまでの活動でも、それぞれの組織で活動をされているなかで見守り活動が重複する

等調整が必要ではないかとの声をいただいている。関係する組織等とも協議をしながら、活動している方々が困らないように整理をしていきたい。

(委員) 少年補導員の名称変更について、回答率 80.1%で9割の方が「こども安全安心見守り委員」の名称を選択したとのことだが、複数候補からの選択方式であれば他の名称についてもお伺いしたい。

(事務局) 「こども非行防止見守り委員」「こども安全安心見守り委員」「こども見守り委員」の選択肢のほか、自由記載欄を設けてアンケートを取った。

(4) 令和6年度上小社会教育委員連絡協議会役員選出について

・宮下代表から令和6年度上小社会教育委員連絡協議会役員選出について説明

立候補者無しのため、代表による指名推薦とし、山崎順子代表代理に決定
正式には令和6年度上小社会教育委員連絡協議会総会での承認を受け監事就任となる

4 その他

- ・社会教育委員視察研修のまとめ
- ・配布した資料について
- ・次回日程について

5 閉会